

日本エネルギー環境教育学会 第10回全国大会
「伝統と革新のまち京都でこれからのエネルギーのあり方を考える」

- 期 間** 平成27年8月8日(土)～8月10日(月)
- 会 場** 京都教育大学 (〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地)
- 特別講演** 8月8日(土) 14:00～14:50
「宇宙に発電所をつくる～太陽電池の能力をすべて活用する方法～」
京都大学生存圏研究所・教授 篠原真毅 氏
- 基調講演** 8月8日(土) 15:00～15:50
「洛中ごみ処理事情～挑戦の歴史から学ぶ～」
清掃史研究家(ごみ・尿尿・トイレ) 前亀岡市副市長 山崎達雄 氏
- パネル討論会** 8月8日(土) 16:00～17:30
テーマ「伝統と革新のまち京都でこれからのエネルギーのあり方を考える」
長崎大学 藤本 登 氏 (コーディネーター)
京都教育大学 榊原典子 氏
長岡京市立長岡第六小学校 吉岡 学 氏
加古川市立加古川中学校 山本照久 氏
京都大学生存圏研究所 篠原真毅 氏 (コメンテーター)
清掃史研究家 山崎達雄 氏 (コメンテーター)
- 一般講演** 口頭発表 67件
- ワークショップ** 3件
- 情報交換会** 8月8日(土)18:00～19:30、京都教育大学生協 参加費:5,000円
- 大会参加費** 7月10日(土)まで(7月11日(日)以降)
一般・団体会員:4,000円(5,000円)
一般非会員:5,000円(6,000円)
学生:2,000円(2,000円)
京都府・京都市の学校教員(学会員を含む):3,000円(3,000円)
- 主 催** 日本エネルギー環境教育学会(第10回全国大会実行委員会)
- 後 援** 文部科学省、経済産業省、環境省、日本エネルギー学会、環境科学会、日本原子力学会、電気事業連合会、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都教育大学
- 大会事務局(現地実行委員会)** 京都教育大学教育学部(担当:山下宏文)
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地
Tel:075-644-8219、E-mail: :kyoto10@kyokyo-u.ac.jp
- 日本エネルギー環境教育学会** 静岡大学教育学部 理科教育教室内(担当:萱野貴広)
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
Tel:080-4548-8360、E-mail:jaeed@jaeed.jp

参加者へのお願い

- 1)会場では、受付でお渡しした名札（兼参加証）を必ず着用してください。
- 2)喫煙は、決められた喫煙所（F棟西側外階段）をご利用ください。
- 3)エアコンの温度はおおよそ 26 度を目安に設定します。ご不自由をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。
- 4)エアコンの温度を高め設定しておりますので、クールビズなど軽装での参加をお願いします。

口頭発表要領

各会場には、パソコン、プロジェクター、レーザーポインタを用意いたします。プレゼンテーションは以下のいずれかの PC とプロジェクターを用いて発表してください。

A. 会場に用意されているパソコンを利用する場合

- 1)使用ソフト：Powerpoint2010 又は 2013
- 2)利用媒体：USB メモリ
- 3)パソコンへのコピー：デスクトップにコピーしてください。
- 4)動作確認：セッション前の休憩時間中にコピーして動作確認を行ってください。
- 5)ファイルの消去：学会終了後に消去いたします。

B. パソコンを持ち込む場合

- 1)動画を使用する場合は、トラブル防止のためにパソコンの持ち込みを推奨いたします。
- 2)動作確認：休憩時間中に必ず動作確認をお願いいたします。スムーズな発表のためご協力をお願いいたします。

発表時間

講演 15 分+質疑応答 5 分（交替時間を含む）

質疑応答中、次の発表者は前に異動し、発表準備をお願いいたします。

時間厳守をお願いいたします。

【座長にお願い】

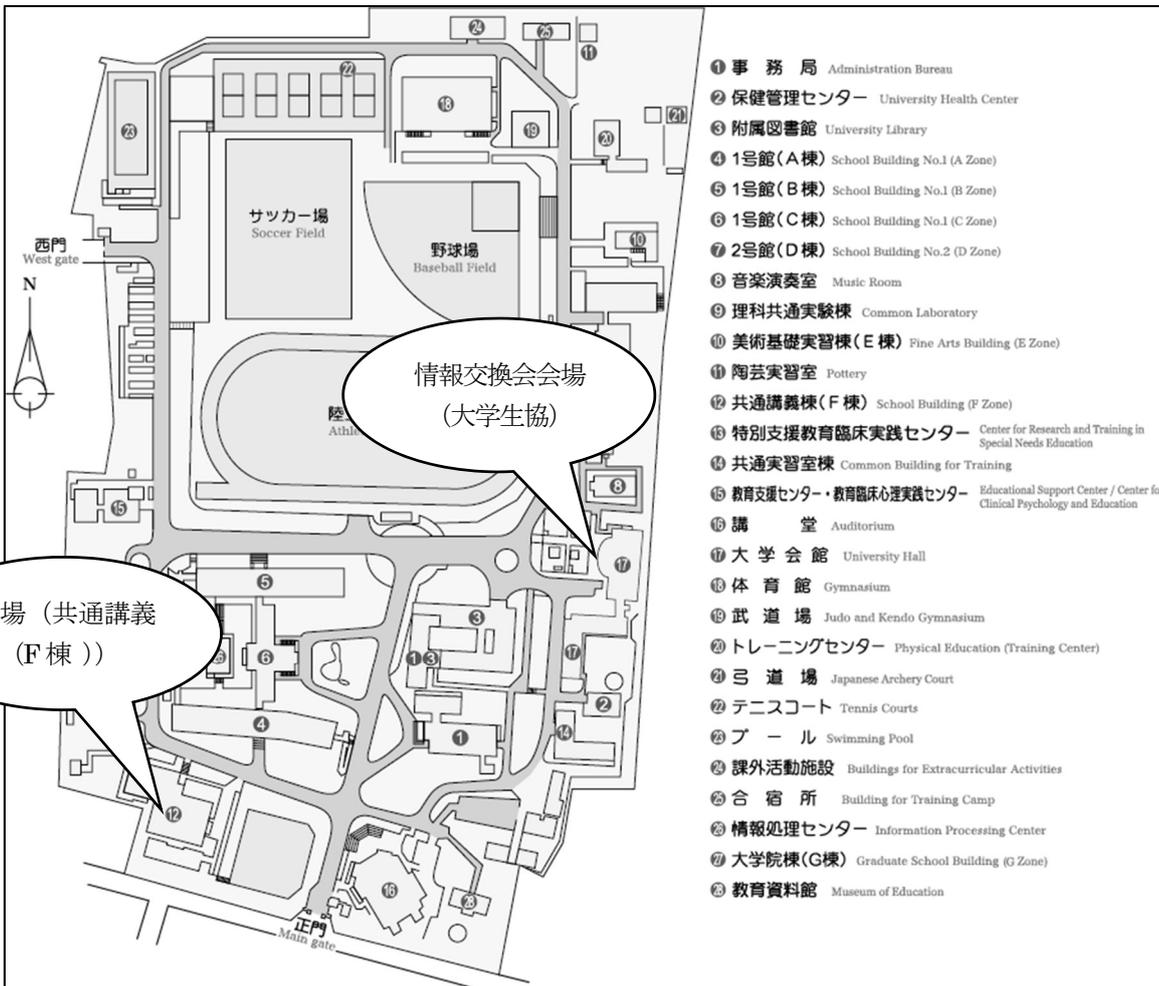
質疑応答を含め、20 分以内でお願いいたします。20 分以上を経過した場合は、発表途中でも打ち切ってください。

アクセスマップ

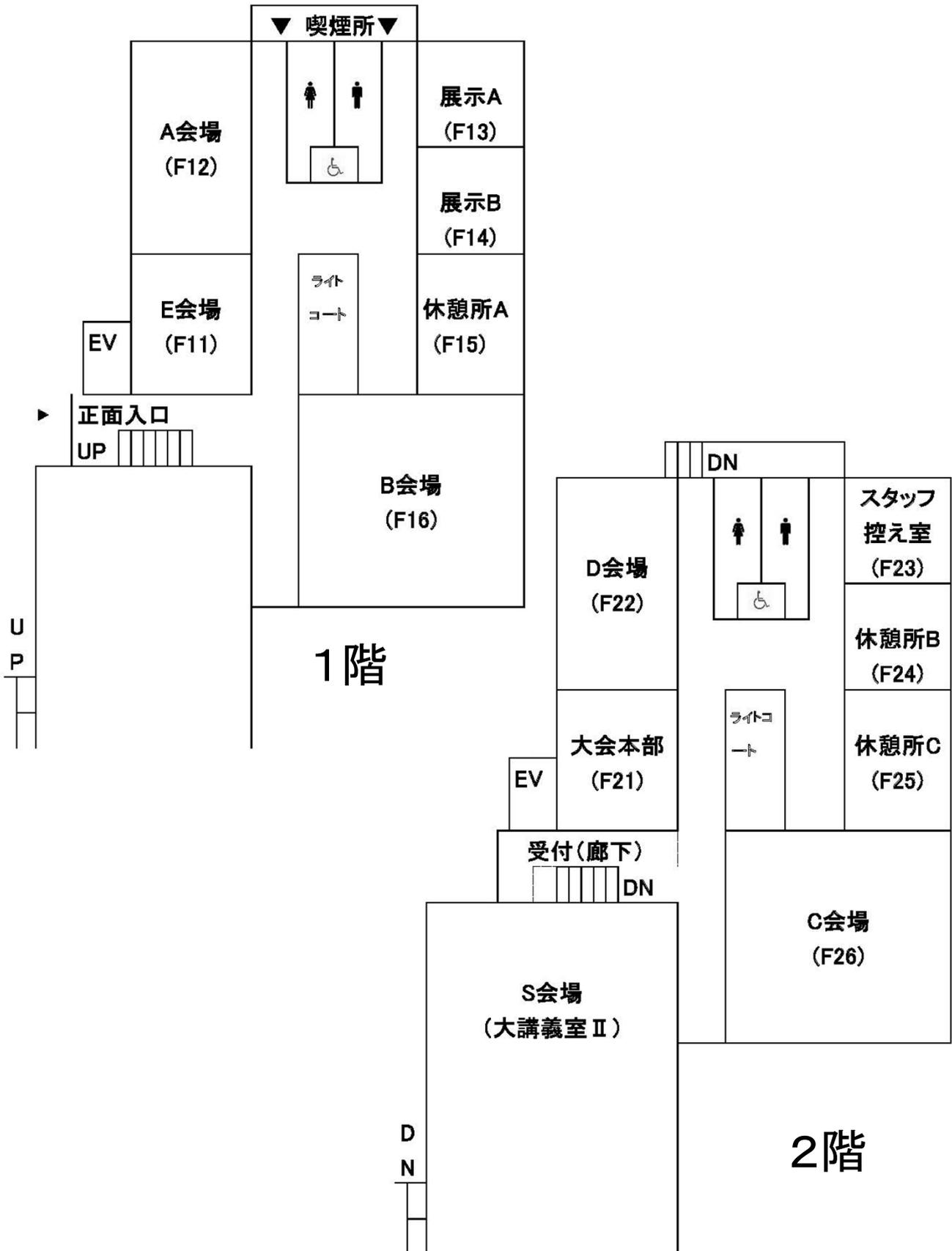


JR 奈良線 JR 藤森駅下車
徒歩約3分
京阪本線 墨染駅下車
徒歩約7分

大学内マップ



会場図(共通講義棟(F棟))



協賛・広告・展示

協賛

一般財団法人石炭エネルギーセンター
石油連盟
一般社団法人日本ガス協会
電気事業連合会

広告

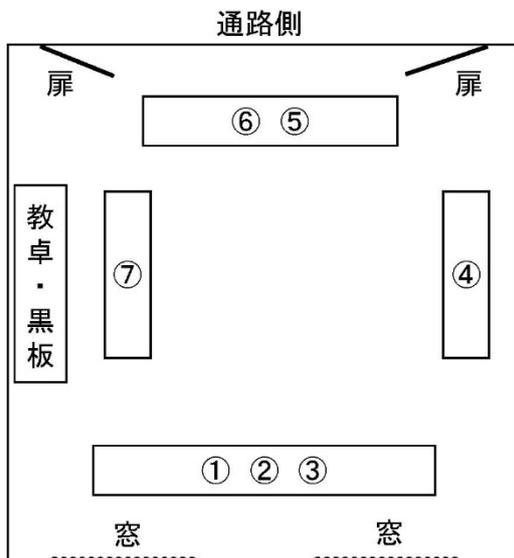
一般社団法人日本電気協会（電気新聞）
日本LPGガス団体協議会
日本ガス協会
ケニス株式会社
石油連盟

展示

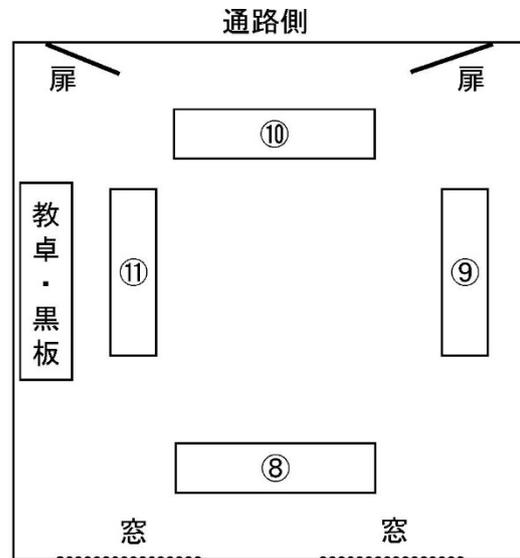
一般社団法人日本電気協会（電気新聞）	①
石油連盟	②
電気事業連合会	③
日本LPGガス団体協議会	④
一般財団法人石炭エネルギーセンター	⑤
日本ガス協会	⑥
公益財団法人日本科学技術振興財団	⑦
一般社団法人新・エネルギー環境教育情報センター	
ケニス株式会社	⑧
福井県美浜町	⑨
京都大学理学研究科地球科学輻合部 ダジック・チーム	⑩
株式会社原子力安全システム研究所	⑪

展示教室

展示 A (F13 教室)



展示 B (F14 教室)



エクスカージョンについて

原子力発電所の安全性を検討するツアー (日本原子力発電株式会社 敦賀発電所及び構内地層)

日程

8月10日(月)

- 8:00 京都駅出発(集合場所:八条口駐車場)
- 11:00 敦賀原子力館着 概要説明
- 11:40 敦賀発電所2号機 緊急時対策所・安全性向上対策資材置場・破砕帯調査現場
- 13:10 昼食 質疑 意見交換
- 14:00 出発
- 17:00 京都駅着
- 18:00 伊丹空港着

費用

無料(昼食代は各自負担)

日本エネルギー環境教育学会第10回全国大会プログラム

会場：京都教育大学

注：発表時間 1題目20分（口頭発表15分・質疑応答5分）

8/8（土）

S会場

14:00～15:50

1S-01 特別講演 宇宙に発電所をつくる～太陽電池の能力をすべて活用する方法～

篠原真毅（京都大学生存圏研究所・教授）

1S-02 基調講演 洛中ごみ処理事情～挑戦の歴史から学ぶ～

山崎達雄（清掃史研究家（ごみ・尿尿・トイレ）前亀岡市副市長）

16:00～17:30

1S-03 環境に配慮した生活者の育成をめざして～伝統と革新のまち京都でこれからのエネルギーのあり方を考える～

榊原典子（京都教育大学）

1S-04 京野菜と食とエネルギー問題～食育とエネルギー環境教育をどう結びつけるか～

吉岡学（長岡京市立長岡第六小学校）

1S-05 伝統と革新のまち京都でこれからのエネルギーのあり方を考える～中学校社会科からのアプローチ～

山本照久（加古川市立加古川中学校）

1S-06 環境と社会生活のつながりをエネルギーから考える～中学校技術科から見た場合～

藤本登（長崎大学）

A会場

9:30～10:30

調査・評価① 座長：八田章光（高知工科大）

1A-01 学生・地元住民とのエネルギー問題対話会～学生とシニアの対話会～

○若杉和彦（SNW）・松永一郎（SNW）・大山博史（広島高専）・馬場弘明（広島高専）

1A-02 原油価格とエネルギー環境教育に関する～考察

橋爪吉博（石油連盟）

1A-03 エネルギー環境の変化とエネルギー環境教育～エネルギー環境を見る6視点～

井越昌紀（持続可能エネルギー環境教育研究会）

10:40～11:40

調査・評価② 座長：安藤雅之（常葉大学）

1A-04 出前授業の効果について～子どもが書いたまとめの文章分析を通して～

○加藤進（三重大伊賀拠点）・紀平征希（三重大伊賀拠点）・久松眞（三重大伊賀拠点）・平賀伸夫（三重大）

1A-05 小学校における環境教育冊子とその効果～環境日記の事例を通して～

博野一平（兵庫県立大学）・熊谷哲（兵庫県立大学）

1A-06 中学生のリスクイメージと日常生活のリスクの認知調査

藤本登（長崎大学）

B会場

9:30~10:30

教材開発① 座長：寺木秀一（東洋大学）

1B-01 F S C（福井理科教育研究会）の取り組み—放射線・防災教育の取り組み—

○小鍛治優（志比小学校）・北倉祐治（明倫中学校）・葛生伸（福井大学）・大磯眞一（INSS）

1B-02 沖縄の地域に根ざしたエネルギー教育教材の開発と実践

○長谷場舞（琉球大学教育学部）・濱田栄作（琉球大学教育学部）・坂下奈奈穂（琉球大学教育学部）・清水洋一（琉球大学教育学部）・玉城博康（琉球大学教育学部附属中学校）・山田政由（栗国村立栗国中学校）・玉寄兼明（沖縄県立総合教育センター）・中村哲也（沖縄県立総合教育センター）

1B-03 地域環境学習教材「さぬきっ子環境スタディ」の活用と展開—香川県における産学官連携の環境教育—

○妹尾理子（香川大学）・福田宏志（香川県教育委員会）・綾田恵子（香川県教育委員会）・池田達治（香川県教育委員会）・川田昭子（香川県環境政策課）・西勇気（香川県環境政策課）

10:40~12:00

教材開発② 座長：妹尾理子（香川大学）

1B-04 バイオ水素エネルギー実験キットの応用—様々な果物を用いた自然発酵によるバイオ水素発酵実験について—

○川村幸嗣（光明理化学工業（株））・宮澤和正（光明理化学工業（株））・本間弘明（光明理化学工業（株））

1B-05 持続可能なエネルギー環境教育の体系的教材開発に関する研究—第2報 プログインデクス法による教材データベースシステム構築法—

○井越昌紀（持続可能エネルギー環境教育研究会）・稗方和夫（東京大学）・寺木秀一（東洋大学）・石川直彦（持続可能エネルギー環境教育研究会）

1B-06 再生可能エネルギーの利用技術に関する教材—「太陽追跡」教材を中心として—

○坪田幸政（桜美林大学）・原佑実（桜美林大学）

1B-07 ソーラーパネルの傾斜角についての考察—理論上の最適角度と実際の設置角度—

八田章光（高知工科大）

C会場

9:30~10:30

授業実践① 座長：島崎洋一（山梨大学）

1C-01 キャリア教育を通じたエネルギー教育の実践—仙台エネルギー環境教育推進研究会の取組—

永井一也（仙台エネルギー環境教育推進研究会・仙台市立館小学校）

1C-02 社会での生活に向けて余韻をのこすエネルギー環境教育—技術分野での出口授業の実践—

○河野卓也（大津市立志賀中学校）・橋本一樹（大津市立志賀中学校）

1C-03 エネルギー教育モデル校（武生一中）の取り組み

竹澤秀之（武生第一中学校）

10:40~12:00

授業実践② 座長：石川直彦（練馬区立光が丘秋の陽小学校）

1C-04 「あかりとくらし」に関する小学校出前授業

○葛生伸（福井大学）・赤崎弘基（関西電力）・森下誉代（関西電力）・中上純代（オフィスナカガミ）

1C-05 1964年と2020年の家電製品を題材にしたエネルギー学習

島崎洋一（山梨大学）

- 1C-06 高専生による放射線教育の電子書籍の開発と中学校での主体的な教育実践
○藤原滋泰（広島商船高等専門学校）・馬場弘明（広島商船高等専門学校）
- 1C-07 大学教育のエネルギー環境教育におけるディベート導入の試み
中村俊哉（仙台白百合女子大学）

D会場

9:30~10:30

カリキュラム開発 座長：橋場隆（原子力安全システム研究所）

- 1D-01 「食の安全」を窓口にしたエネルギー教育の構想－食の安全をリスクとベネフィットの両面から考える－
○三木千恵（札幌市立手稲西小学校）・三田村剛（北海道教育大学附属札幌小学校）・平田文夫（北海道大学エネルギー教育研究会）・三木直輝（札幌市立山の手小学校）
- 1D-02 STEM教育の視点を活用した「エネルギー」概念の形成－「光合成」と「呼吸」を関連づけた中学校理科カリキュラムの設計－
○森健一郎（北海道教育大学釧路校）・栢野彰秀（島根大学）・高橋弾（釧路市立幣舞中学校）
- 1D-03 中学校技術科「エネルギー変換に関する技術」の学習活動に関する特徴分析
相澤崇（琉球大学）

10:40~12:00

普及活動① 座長：今村哲史（山形大学）

- 1D-04 楽しく学べる教具や学習活動の提案－「わが国のエネルギーのあり方を考える教材」の開発の一環として－
○橋場隆（原子力安全システム研究所）・渥美寿雄（近畿大学）・小鍛冶優（志比小学校）
- 1D-05 看護学校への緊急被ばく医療に関する出前講座の取り組み
○山本智彦（日本原燃株式会社）・宮川俊晴（日本原燃株式会社）・酒田美沙紀（日本原燃株式会社）・神裕（日本原燃株式会社）・小笠原祐太（日本原燃株式会社）
- 1D-06 放射線教育支援活動の取り組み－パネル討論から
○宮川俊晴（日本原燃株）・田中隆一（NPO法人放射線教育フォーラム）
- 1D-07 リスク教育の基本情報Ⅳ：原子力発電所の活断層判断と処分研究での断層活用
○杉山憲一郎（北海道大学エネルギー教育研究会）・平田文夫（北海道大学エネルギー教育研究会）

A会場

9:30~10:50

調査・評価③ 座長：高木浩一（岩手大学）

2A-01 東日本大震災後の小学校教科書にみられるエネルギー環境教育

○平野江美（奈良教育大学附属小学校）・榊原典子（京都教育大学）・山下宏文（京都教育大学）

2A-02 高校における防災教育からみた中学校理科の地震に関する学習の重要性

○那須悦代（兵庫教育大学連合大学院）・村田守（鳴門教育大学）

2A-03 新学習指導要領に基づく高等学校教科書の原子力記述の調査と提言

○松永一郎（SNW, 日本原子力学会教育委員会）・若杉和彦（SNW）

2A-04 新しい中学校理科検定済教科書における放射線記載の傾向について

田中隆一（放射線教育フォーラム）

11:00~12:20

調査・評価④ 座長：山下宏文（京都教育大学）

2A-05 学校教育におけるESDの現在—持続可能エネルギー環境教育の実践に着目して—

寺木秀一（東洋大学／持続可能エネルギー環境教育研究会）

2A-06 エネルギーリテラシー（EL）とエネルギー環境教育—「これからのエネルギー教育の在り方」とアメリカの次世代科学スタンダードとEL—

熊野善介（静岡大学創造科学技術大学院・教育学部）

2A-07 米国のSTEM教育、エネルギー省(DOE)のエネルギー教育・その1—Energy Literacy 教育そしてNGSS との関連より—

○長洲南海男（筑波大学）・出口憲（常葉大学）

2A-08 米国のSTEM教育、エネルギー省(DOE)のエネルギー教育・その2—Energy Literacy FrameworkとNGSSとの関連、特にPhysical Sciencesについて—

○出口憲（常葉大学）・長洲南海男（筑波大学）

13:20~15:00

調査・評価⑤ 座長：東之弘（いわき明星大学）

2A-09 日本の中学生のエネルギー・リテラシー調査

○秋津裕（京都大学大学院）・石原慶一（京都大学大学院）・奥村英之（京都大学大学院）・山末英嗣（京都大学大学院）

2A-10 中学校理科における放射線教育の実践と評価

○萱野貴広（静岡大学教育学部）・土屋善之（島田市立島田第二中学校）

2A-11 放射線に関する意識動向について—学校教育関係の結果を中心に—

大磯真一（原子力安全システム研究所）

2A-12 紫外線に対する沖縄の若者の意識調査と分析

○濱田栄作（琉球大学教育学部）・宮平千聖（琉球大学教育学部）

2A-13 原子力発電を題材とした討論型世論調査の活用と情報資料作成方法の検討—原子力発電におけるトランスサイエンス問題を対象に—

○村吉範彦（京都大学大学院）・森下和功（京都大エネ理工研）・岩切宏友（琉球大学教育学部）・中筋俊樹（京都大学大学院）

B会場

9:30~10:00 エネルギー教育賞最優秀賞受賞校事例発表 座長：熊野善介（静岡大学）

2B-01 「未来を担う子どもたちへのエネルギー環境教育」—大学・高専・科学関連施設等の連携を通して—

江尻陽子（いわき市立好間第二小学校 前・猪苗代町立長瀬小学校）

10:10~10:50 普及活動② 座長：萱野貴広（静岡大学）

2B-02 関西地域におけるエネルギー環境教育の普及活動—平成26年度のエネルギー環境教育関西ワークショップの取組—

○村井健志（(株)原子力安全システム研究所）・橋場隆（(株)原子力安全システム研究所）・山下宏文（京都教育大学）

2B-03 「教員の民間企業研修」を契機としたエネルギー環境教育の実践事例—教員と企業による協業の試み—

○瀬尾敦子（東京ガス株式会社）・庄司武（東京ガス株式会社）

11:00~12:20 教材開発③ 座長：三木直輝（札幌市立山の手小学校）

2B-04 放射線の利用を身近に感じる理科教材の提案—放射線照射樹脂・非照射樹脂の利用—
若松巧倫（ケニス株式会社）

2B-05 二酸化炭素に関する教材研究

○佐藤直哉（福井大工）・葛生伸（福井大工）

2B-06 3Dプリンタによるエネルギー教育用クリップモーターカーの製作

○金原克範（東京理科大学大学院科学教育研究科）・川村康文（東京理科大学）

2B-07 エネルギー環境教育の実験教材としての「かわむらのコマ」

川村康文（東京理科大学）

13:20~14:40 授業実践⑤ 座長：葛生伸（福井大学）

2B-08 地層処分を題材として「ものの見方・考え方・感じ方（感覚）」を養う ～小3「総合的な学習の時間」の実践（3時間構成）より～

○菅野英人（札幌市立栄町小学校）・三木直輝（札幌市立山の手小学校）・平田文夫（北海道大学エネルギー教育研究会）

2B-09 中1理科「大地の成り立ちと変化」におけるエネルギー環境教育の実践 —高レベル放射性廃棄物の地層処分の視点を加味した単元構成の工夫—

○佐藤深（札幌市立北栄中学校）・森山正樹（札幌市立白石中学校）・三木直輝（札幌市立山の手小学校）

2B-10 高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する授業実践（中学校理科3年）

○森山正樹（札幌市立白石中学校）・齊藤一幸（札幌市立白石中学校）・高橋美砂子（札幌市立白石中学校）・大石広大（札幌市立白石中学校）

2B-11 高レベル放射性廃棄物処分を題材に組み入れたエネルギー環境教育の検討

藤本登（長崎大学）

C会場

9:30~10:50 授業実践③ 座長：洪澤文隆（帝京大学）

2C-01 「わが国のエネルギーのあり方を考える教材」の実践 —今後の日本の基幹電源を考える社会科授業—

○山本照久（加古川市立加古川中学校）・加藤真也（加古川市立加古川中学校）・大住正典（加古川市立中部中学校）・渥美寿雄（近畿大学）・橋場隆（原子力安全システム研究所）・村井健志（原子力安全システム研究所）

2C-02 新しく開発したエネルギー教材と授業実践—小学校6年理科「人と環境」での実践—
○小鍛治優(志比小学校)・渥美寿雄(近畿大学)・橋場隆(原子力安全システム研究所)

2C-03 2030年の電源構成を考える授業実践

○壺井宏泰(兵庫県立北須磨高等学校)・渥美寿雄(近畿大学)・橋場隆(原子力安全システム研究所)

2C-04 小中学校での省エネ実験実践報告—協働作業で取組む省エネ電球の電力計測実験—
奈良敏雄(エネルギー教育コーディネーター)

11:00~12:20

授業実践④ 座長:丹沢哲郎(静岡大学)

2C-05 島根大学教育学部附属中学校における放射線教育(1)—「どのような行動をとるとよいのだろうか」の判断を行う理科学習の構想—

○大山朋江(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部附属中学校)・栢野彰秀(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部)・園山裕之(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部附属中学校)・木下勝(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学大学院教育学研究科院生)・高橋里美(山陰エネルギー環境教育研究会/松江市立第三中学校)・野崎朝之(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部附属中学校)・秦明德(山陰エネルギー環境教育研究会/前島根大学教育学部)

2C-06 島根大学教育学部附属中学校における放射線教育(2)—「どのような行動をとるとよいのだろうか」の判断を行う理科学習の評価—

○栢野彰秀(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部)・大山朋江(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部附属中学校)・園山裕之(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部附属中学校)・木下勝(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学大学院教育学研究科院生)・高橋里美(山陰エネルギー環境教育研究会/松江市立第三中学校)・野崎朝之(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部附属中学校)・秦明德(山陰エネルギー環境教育研究会/前島根大学教育学部)

2C-07 島根大学教育学部附属中学校における放射線教育(3)—観察・実験の実際—

○園山裕之(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部附属中学校)・栢野彰秀(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部)・大山朋江(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部附属中学校)・木下勝(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学大学院教育学研究科院生)・高橋里美(山陰エネルギー環境教育研究会/松江市立第一中学校)・野崎朝之(山陰エネルギー環境教育研究会/島根大学教育学部附属中学校)・秦明德(山陰エネルギー環境教育研究会/前島根大学教育学部)

2C-08 中高生および大学生に対する放射線教育と放射線に対する知識

○東山禎夫(山形大学)・菊地新一(山形大学)・田村恒一(山形大学)

13:20~15:00

授業実践⑥ 座長:山本照久(加古川市立加古川中学校)

2C-09 地域力で「生きる力」を培うエネルギー環境教育—食育と放射線教育の融合教材による授業実践—

○岸部理津子(北海道北斗市立大野小学校)・西河竜弥(北海道北斗市立大野小学校大野小学校)・佐藤和敏(北海道函館市立尾札部中学校)

2C-10 時間的・空な広がりを実感的に学ぶ地層の学習~思考力・判断を育てる体験的な学習~

○増谷忍(札幌市立北野平小学校)・杉野さちこ(札幌市立円山小学校)・富田雄介(札幌市立幌北小学校)・三木直輝(札幌市立山の手小学校)

2C-11 ソーラーオープンを利用したエネルギー教育による生徒のSTEM的学びの深まりについての実践的研究

○奥村仁一(静岡大学)・熊野善介(静岡大学)

2C-12 エネルギー環境教育の実践からアクティブ・ラーニングを考えるーエネルギー環境教育の実践を通して明らかになった主体的・協働的な学びの成果ー

石川直彦（持続可能エネルギー環境教育研究会）

2C-13 電気エネルギーを題材にしたSSH課題研究リテラシー講座の設計

○高木浩一（岩手大学）・伊藤陽菜（盛岡南高校）

D会場

9:30~10:50

ワークショップ①

WS-01 放射線学習への簡易GM型放射線検出器の活用に向けた検討ー検出器の作成を通して授業への活用を考えるー

○藤本登（長崎大学）・飯本武志（東京大学）・尾崎哲（JSF）・掛布智久（JSF）・高木利恵子（ECP）

WS-02 高輝度LED型霧箱の製作と歯科医用レントゲンフィルムの利用

○藤本登（長崎大学）・松田尚樹

11:00~12:00

教材開発④ 座長：土屋英男（京都教育大学）

2D-01 改訂教科書から考える持続可能エネルギー環境教育の進め方の研究ー2030年に向けた持続可能エネルギー環境教育の第一歩としてー

石川直彦（持続可能エネルギー環境教育研究会）

2D-02 「エネルギー教育」実験教材の開発ー「床発電システム」の利用ー

○井口傑（旭川工業高等専門学校）・三島裕樹（函館工業高等専門学校）・加藤航（長岡技術科学大学）・佐々木淳（北海道浜頓別高等学校）

2D-03 電流をより身近に学ぶための教材の開発ーモデルハウスを使った実践ー

南部隆幸（福井市森田中学校）

13:20~15:20

ワークショップ②

WS-03 小学校高学年向け「放射線リスク」授業ー授業体験を通して「放射線リスク」授業の実現可能性を検討するー

○幸浩子（京都大学大学院エネルギー科学研究科）・永井進（日本原燃株式会社）

**日本エネルギー環境教育学会第10回全国大会
一般講演会場・時間・セッション名・座長一覧**

	S会場 大講義室Ⅱ	A会場 F12教室	B会場 F16教室	C会場 F26教室	D会場 F22教室	E会場 F11教室	
8/8(土)		9:30~10:30 調査・評価① 八田章光 (高知工科大学)	9:30~10:30 教材開発① 寺木秀一 (東洋大学)	9:30~10:30 授業実践① 島崎洋一 (山梨大学)	9:30~10:30 カリキュラム 開発 橋場隆 (原子力安全シス テム研究所)		
		10:40~11:40 調査・評価② 安藤雅之 (常葉大学)	10:40~12:00 教材開発② 妹尾理子 (香川大学)	10:40~12:00 授業実践② 石川直彦 (練馬区立光が丘 秋の陽小学校)	10:40~12:00 普及活動① 今村哲史 (山形大学)		
		12:00~13:00 昼食					12:05~12:50 理事会
		13:00~13:45 総会					
		14:00~15:50 特別講演 基調講演					
		16:00~17:30 パネル討論会					
	S会場 大講義室Ⅱ	A会場 F12教室	B会場 F16教室	C会場 F26教室	D会場 F22教室	E会場 F11教室	
8/9(日)		9:30~10:50 調査・評価③ 高木浩一 (岩手大学)	9:30~10:00 エネルギー教育 賞事例発表 熊野善介 (静岡大学)	9:30~10:50 授業実践③ 洪澤文隆 (帝京大学)	9:30~10:50 ワークショップ①		
			10:10~10:50 普及活動② 萱野貴広 (静岡大学)				
		11:00~12:20 調査・評価④ 山下宏文 (京都教育大学)	11:00~12:20 教材開発③ 三木直輝 (札幌市立 山の手小学校)	11:00~12:20 授業実践④ 丹沢哲郎 (静岡大学)	11:00~12:00 教材開発④ 土屋英男 (京都教育大学)		
		12:25~13:10 広報委員会	12:25~13:10 昼食		12:25~13:10 編集委員会	12:25~13:10 実践委員会	
	13:20~15:00 調査・評価⑤ 東之弘 (いわき明星大学)	13:20~14:40 授業実践⑤ 葛生伸 (福井大学)	13:20~15:00 授業実践⑥ 山本照久 (加古川市立 加古川中学校)	13:20~15:20 ワークショップ②			